

(別添様式3)

政務活動費 調査旅費等報告書

(未来いづか 江口徹)

日程	令和4年10月16日から令和4年10月18日まで 3日間		
日時	視察地	目的・概要	所感等
10月16日 ～18日	東京都	<p>清溪セミナー参加</p> <p>講義I 「今あらためて考える地方創生」 講師:石破 茂 氏(衆議院議員)</p> <p>講義II 「徳島県神山町 人口5000人の小さな町はなぜ進化し続けるのか」 講師:大南信也 氏(神山まると高専設立準備財団代表理事)</p> <p>講義III 「地方創生-議会と自治体が果たすべき役割」 講師:木下 齐氏(一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事)</p> <p>講義IV 「民学参公官の協働によるコミュニティ創生とDX化の課題」 講師:清原 慶子(前三鷹市長)</p>	<p>実行委員長を務める清溪セミナーに金子議員と共に参加。 会場参加84人、オンライン・オンデマンド合わせて約120人の参加で盛会に終えることができました。 その中で特に印象に残ったモノを紹介します。 まずは、衆議院議員の石破茂さんの講演から。 石破さんは、「都道府県別の経済的豊かさ(可処分所得と基礎支出)」を示し、地方創生について語られました。 見方によっては地方であっても豊かさを感じることができることを数字を元に示され、何を指標に地域づくりを考えるのかが大事だと言う事を示唆されたように思います。</p> <p>講義IIの講師の大南さんは、徳島県神山町で「神山まると高等専門学校」という高専を立ち上げる準備をされています。 コンセプトは「テクノロジー×デザインで人間の未来を変える学校。」として、全寮制で、15歳から、テクノロジーとデザイン、起業家精神を一度に学ぶ学校という、今までの学校とは全く違う学校を作られようとしています。</p>

		<p>講義V 「結婚・出産数が増加!残業や離職率は減少!さらに業績が向上する働き方改革の方法とは2000社の働き方改革コンサル事例から紹介」 講師:小室 淑恵 氏(株式会社ワークライフバランス代表取締役社長)</p> <p>講義VI「若者が声を届け、その声が響く社会を目指して」 講師:能條 桃子 氏(一般社団法人NOYOUTHNOJAPAN代表理事)</p>	<p>無理だと思われた学校作りですが、財界からも賛同の声が上がり大きな支援を得て、奨学金なども整備され、この学校一つでまちのイメージが変わるような仕掛けとなっています。 教育の影響力の大きさを感じると共に、事業のコンセプトをしっかりと作り込むことの大切さなどを改めて感じる時間でした。</p> <p>講義VIの講師、能條桃子さんはまだ20代の大学院生。 大学在学中にデンマークに留学され、若者と政治の近さを目の当たりにし、日本との違いを痛感されたとのこと。 日本では、18歳選挙権を機会に主権者教育がやっと始まるうとしていますが、いままでは政治は身近なものではなく、ちょっと距離を置くべきものとして腫れ物扱いされてきたのに対し、デンマークでは家庭でも学校でも日常的に政治のことが話題に上がる、そして投票率はなんと80%超え! 日本でもそのような状況をつくりたいと『NO YOUTH NO JAPAN』と言う団体を立ち上げ、若者向けの政治の教科書の出版をはじめ、様々な活動をされています。能條さんの取り組みは、非常にわかりやすく、飯塚でも取り組めることも多くあります。 市民と共に、そのような動きをはじめようと思えます。</p>
--	--	--	---

清溪セミナー

を進めるために



2022年10月17日(月)～10月18日(火)
日本青年館ホテル 8F カンファレンスルーム

1日目 10月17日(月)

— 開講式 — 12:30 ～

講義 I 13:00 ～ 14:20

今あらためて地方創生を考える

講師：石破 茂 氏 [衆議院議員]

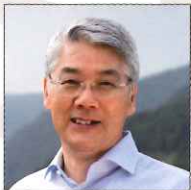


鳥取県八頭郡八頭町出身。1986年衆議院初当選。防衛大臣、農林水産大臣などを歴任ののち、09年に自由民主党政務調査会長、12年に党幹事長に就任。14年9月からおよそ2年間、国務大臣地方創生・国家戦略特別区域担当を務める。

講義 II 14:35 ～ 16:15

徳島県神山町 人口 5000人の小さな町はなぜ 進化し続けるのか

講師：大南 信也 氏 [神山まるごと高専設立準備財団代表理事]



1953 年徳島県神山町生まれ。過疎化した地域が生き残るための解決策を見出そうと創造的人材の誘致や IT ベンチャー企業のサテライトオフィス集積を軸に、グローバルでクリエイティブな地域活性化を展開。現在「神山まるごと高専」設立に奔走中。

講義 III 16:30 ～ 18:10

地方創生 議会と自治体が果たすべき役割

講師：木下 育 氏
[(一社)エリア・イノベーション・アライアンス代表理事]



1982 年東京生まれ。2009 年に全国のまち会社による事業連携・政策立案組織である一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立し代表理事就任。内閣府地域活性化伝道師や各種政府委員、地域活性化に資する地方企業の役員、顧問など多数。

※新型コロナウイルス感染状況を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

2日目 10月18日(火)

講義 IV 09:00 ～ 10:30

民学産公官の協働による コミュニティ創生とDX化の課題

講師：清原 慶子 氏 [前三鷹市長]



杏林大学客員教授・ルーテル学院大学客員教授・前三鷹市長。慶應義塾大学大学院修了後、東京工科大学メディア学部長・教授等を経て、2003年4月より三鷹市長を4期16年務め、現在は内閣官房こども政策参与、総務省統計委員会委員・行政評価局アドバイザー、文部科学省中央教育審議会委員等を務める。

講義 V 10:45 ～ 12:05

結婚・出産数が増加！残業や離職率は減少！ さらに業績が向上する働き方改革の方法とは 2000社の働き方改革コンサル事例から紹介

講師：小室 淑恵 氏 (オンライン講義)
[株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長]



2000社以上の企業へのコンサルティング実績を持ち、残業を減らして業績を上げるコンサルティング手法に定評があり、残業削減した企業では業績と出生率が向上している。「産業競争力会議」民間議員など複数の公務を歴任。2児の母。

— 昼食・全国情報交換会 — 12:20 ～ 13:45

講義 VI 14:00 ～ 15:15

若者が声を届け、 その声が響く社会を目指して

講師：能條 桃子 氏
[一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN 代表理事]



1998 年生まれ。慶應義塾大学院生。ハフポスト日本版 U30 社外編集委員。若者の投票率が高いデンマーク留学をきっかけに、2019 年 7 月政治や社会の情報を伝える Instagram メディア NO YOUTH NO JAPAN を立ち上げ、団体創設。「参加型デモクラシー」ある社会をつくるために活動を展開。団体近著に『YOUTHQUAKE～U30 世代がつくる政治と社会の教科書～』。

— 閉講式 — 15:15 ～ 15:30

議員同士の全国ネットワーク「清溪セミナー」に参加しませんか！

清溪セミナーは平成9年度にスタートし、今年で27回目。神宮球場の目の前に建つ100周年を迎えた日本青年館を舞台に、超党派の地方議員を主体とした実行委員会形式で、その時々にあったテーマを学ぶ場として企画を練り上げ、好評の下に実施してきました。今年のプログラムは、1日目は地方創生や経済の現場からの発信、2日目はワークライフバランスや若者の政治参加など、多様な視点での企画となっており、私ども実行委員会としても楽しみでなりません。講師陣のうち、2日は全て女性講師ですし、20代の講師がおられるのも他のセミナーとの違いだと自負しています。統一地方選挙を目前とした時期に、ぜひ、これらの視点を学び、地元を持ち帰って頂ければ幸いです。また、清溪セミナーの良いところは、情報交換をできる仲間、本音で議論できる仲間が全国に広がる点でもあります。ぜひ、この場を、情報交換や講師との交流の時間としても、お使いください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



実行委員長（福岡県飯塚市議会議員7期）江口 徹

第27回 清溪セミナー

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

日時：2022年10月17日(月)～10月18日(火)

会場：日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム（250㎡）

参加対象：地方議会議員等100名限定（他オンライン参加有）

※新型コロナの感染状況により来場参加者数を変更する場合があります。

参加申込：下記の申込書に記入し、FAXもしくはメールで下記までお送りください。受領後に請求書をメールにてお送りいたします。

また、公式ホームページの申込フォームからお申込みいただけます。

<https://bit.ly/3IBD70F> ▶



申込締切：2022年10月5日(水) 17:00 必着

参加経費：参加費 29,000円(税込) ※録画配信の視聴2ヵ月付

18日 昼食・情報交換会 1,900円(税込) ※希望者のみ
(コーヒー・デザート付)

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約またはホテルパックで利用できます。ご予約は右記QRコードより各自でお願いいたします。

<https://nippon-seinenkan.or.jp/> ▶



日本青年館ホテル 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

清溪セミナー実行委員会事務局
一般財団法人日本青年館公益事業部内
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 5F
澁谷 / 田中
TEL 03-6452-9012（平日9時～17時）
FAX 03-6452-9026
MAIL seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

オンライン受講について

今年もオンライン受講を実施します。当日会場にお越し頂けない方は是非ご活用ください。

なお、お一人ずつのお申し込みをお願いいたします。

○参加費：22,000円

○1日のみの参加は18,000円

下記申込書の所定欄に視聴を希望する日にちに○をつけてください。オンライン受講をお申し込みの方には「オンライン受講者用ご連絡」をメール送信させていただきます（9月初旬から）。オンライン受講には下記の2つの参加形態をお選びいただけます。

1) ライブ視聴参加

ZOOMを使用したリアルタイム配信となります。当日はZOOMのチャット機能を使い講師への質問も受け付けます。ZOOMのアドレスを開催日1週間前にメール送信いたします。

2) オンデマンド視聴参加

セミナー当日ご都合のつかない方向けに、セミナー終了後に録画配信によるオンデマンド視聴をお選びいただけます。期間は11月1日より12月末日となります。

■ 来場によるご参加および、上記1)のライブ視聴参加の方も、オンデマンド視聴をご利用いただけます。

申込記入欄

FAX: 03-6452-9026

※上記QRコードの公式サイトからダウンロード可能です

所属 (議会名・会派名等)	(議員以外の方は勤務先をご記入ください)		
ふりがな 名前	携帯電話		
	FAX		
住所	〒	MAIL	日常的に受信できるPCアドレス
参加形態 (該当項目に丸印)	A. 日本青年館に来場参加 ※録画配信の視聴可	B. 当日のライブ視聴参加 (17日・18日・両日)	C. 後日オンデマンド配信を視聴 (17日・18日・両日)
領収書の要・不要	不要・必要 ▶ 宛名: 議会名・会派名・名前・その他 ()		

18日の昼食情報交換会(税込1,900円) ※来場参加者のみ

申し込みます ・ 申し込みません

住民主体の地方自治を進めるために



第 27 回清溪セミナー — プログラム —

平成 9 年、日本青年館より青年団 OB・OG の若手議員に呼びかけて超党派による実行委員会が発足。地方政治家としての勉強の場とネットワーク化を図るため、山中湖にある日本青年館分館「山中湖畔荘 清溪」にて第 1 回清溪セミナーを開催しました。

「清溪」という冠は、城山三郎の小説「男子の本懐」のモデルとなった元日本青年館理事長で大蔵大臣、日銀総裁を歴任した井上準之助の雅号であり、第 1 回の会場「清溪」の名称でもあることと、「政経」の意味も含めて付けられた名称です。議員自らによる議員のための他に類のない本セミナーは、すでに四半世紀を超え、全国各地の首長や若手の政治家にとどまらず、女性の参加も増えています。また、実行委員や参加者同士のインターネットを通じた情報交流も始まり、新型コロナウイルスの影響とはいえオンライン受講も定着してまいりました。

全国から集まった 28 名の実行委員のもと、日本青年館は共催者として事務局の役割を果たしながら、会場や宿泊先として全面的な支援を行い、「住民主体の地域を実現する」ために 27 回目の清溪セミナーを開催いたします。

2022 年 10 月 17 日（月）・18 日（火）
日本青年館 8F カンファレンスルーム

主 催 清溪セミナー実行委員会

共 催 一般財団法人日本青年館

清溪セミナー

を進めるために



2022年10月17日(月)～10月18日(火)
日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

1日目 10月17日(月)

— 開講式 — 12:30 ～

講義 I 13:00 ～ 14:20

今あらためて地方創生を考える

講師：石破茂氏 [衆議院議員]



鳥取県八頭郡八頭町出身。1986年衆議院初当選。防衛大臣、農林水産大臣などを歴任ののち、09年に自由民主党政務調査会長、12年に党幹事に就任。14年9月からおよそ2年間、国務大臣地方創生・国家戦略特別区域担当を務める。

講義 II 14:35 ～ 16:15

徳島県神山町 人口5000人の小さな町はなぜ 進化し続けるのか

講師：大南信也氏 [神山まるごと高専設立準備財団代表理事]



1953年徳島県神山町生まれ。過疎化した地域が生き残るための解決策を見出そうと創造的人材の誘致やITベンチャー企業のサテライトオフィス集積を軸に、グローバルでクリエイティブな地域活性化を展開。現在「神山まるごと高専」設立に奔走中。

講義 III 16:30 ～ 18:10

地方創生 議会と自治体が果たすべき役割

講師：木下 齊氏

[(一社)エリア・イノベーション・アライアンス代表理事]



1982年東京生まれ。2009年に全国のまち会社による事業連携・政策立案組織である一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立し代表理事就任。内閣府地域活性化伝道師や各種政府委員、地域活性化に資する地方企業の役員、顧問など多数。

※新型コロナウイルス感染状況を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

2日目 10月18日(火)

講義 IV 09:00 ～ 10:30

民学産公官の協働による コミュニティ創生とDX化の課題

講師：清原 慶子氏 [前三鷹市長]



杏林大学客員教授・ルーテル学院大学客員教授・前三鷹市長。慶應義塾大学大学院修了後、東京工科大学メディア学部学部長・教授等を経て、2003年4月より三鷹市長を4期16年務め、現在は内閣官房こども政策参与、総務省統計委員会委員・行政評価局アドバイザー、文部科学省中央教育審議会委員等を務める。

講義 V 10:45 ～ 12:05

結婚・出産数が増加！残業や離職率は減少！ さらに業績が向上する働き方改革の方法とは 2000社の働き方改革コンサル事例から紹介

講師：小室 淑恵氏 (オンライン講義)

[株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長]



2000社以上の企業へのコンサルティング実績を持ち、残業を減らして業績を上げるコンサルティング手法に定評があり、残業削減した企業では業績と出生率が向上している。「産業競争力会議」民間議員など複数の公務を歴任。2児の母。

— 昼食・全国情報交換会 — 12:20 ～ 13:45

講義 VI 14:00 ～ 15:15

若者が声を届け、 その声が響く社会を目指して

講師：能條 桃子氏

[一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN 代表理事]



1998年生まれ。慶應義塾大学院生。ハフポスト日本版 U30 社外編集委員。若者の投票率が高いデンマーク留学をきっかけに、2019年7月政治や社会の情報を伝える Instagram メディア NO YOUTH NO JAPAN を立ち上げ、団体創設。「参加型デモクラシー」ある社会をつくるために活動を展開。団体近著に『YOUTHQUAKE～U30世代がつくる政治と社会の教科書～』。

— 閉講式 — 15:15 ～ 15:30

100年間の思いを、
これからも、ともに。



「第27回清溪セミナー」日程表

〔会場〕日本青年館ホテル 8Fカンファレンスルーム「イエロー」

2022年10月17日(月)

12:00 受付開始

12:30 開講式

進行：寺岡 公章 委員(幹事長、大竹市)

挨拶：江口 徹 実行委員長(飯塚市)

佛木 完(日本青年館常務理事)

13:00～14:20 講義Ⅰ 「今あらためて地方創生を考える」

講師：石破 茂 氏(衆議院議員)

担当委員：田中 貞男 委員(東かがわ市)

前田 昇 委員(日吉津村)

14:35～16:15 講義Ⅱ 「徳島県神山町 人口5000人の小さな町はなぜ進化し続けるのか」

講師：大南 信也 氏(神山まると高専設立準備財団代表理事)

担当委員：中村 和彦 委員(委員長代行、真岡市)

野田 ゆみ 委員(荒尾市)

16:30～18:10 講義Ⅲ 「地方創生 議会と自治体が果たすべき役割」

講師：木下 斉 氏

(一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事)

担当委員：岡崎 正淳 委員(福山市)

小橋 昭彦 委員(丹波市)

2022年10月18日(火)

- 9:00～10:30 議義Ⅳ 「民学産公官の協働によるコミュニティ創生とDX化の課題」
講師：清原 慶子（前三鷹市長）
担当委員：白井えり子 委員（日進市）
深沢ひろふみ 委員（町田市）
- 10:45～12:05 議義Ⅴ 「結婚・出産数が増加！残業や離職率は減少！さらに業績が向上する
働き方改革の方法とは 2000社の働き方改革コンサル事例から紹介」
講師：小室 淑恵 氏
（株式会社ワークライフバランス代表取締役社長）
担当委員：中野まさひろ 委員（東郷町）
伊藤 正子 委員（川越市）
- 12:20～13:45 昼食・全国情報交換会
担当委員：寺岡 公章 委員（幹事長、大竹市）
進行：鵬志会幹事長 栗林 魁さん
鵬志会 山内 里紗さん
※お申し込みの方のみとなります。
- 14:00～15:15 議義Ⅵ 講演「若者が声を届け、その声が響く社会を目指して」
講師：能條 桃子 氏（一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表理事）
担当委員：江口 徹 委員長（飯塚市）
吉田 恵三 委員（会津若松市）
- 15:15～15:30 閉講式
挨拶：吉田 つとむ 委員（町田市）

第27回清溪セミナー参加者名簿

No	都道府県	所属(議会名)	名前	参加形態	情報交換会 18日昼食
1	北海道	安平町議会議員	箱崎 英輔	日本青年館に来場参加	
2	北海道	喜茂別町議会	山下 純	日本青年館に来場参加	○
3	青森県	八戸市議会 自由民主・市民クラブ	間 盛仁	日本青年館に来場参加	
4	岩手県	滝沢市議会 滝沢市民クラブ	松村 一	日本青年館に来場参加	
5	岩手県	滝沢市議会 滝沢市民クラブ	日向 裕子	日本青年館に来場参加	
6	岩手県	滝沢市議会 滝沢市民クラブ	齋藤 明	日本青年館に来場参加	
7	岩手県	滝沢市議会	藤原 治	日本青年館に来場参加	
8	福島県	会津若松市議会 創風あいづ	吉田 恵三	日本青年館に来場参加	○
9	茨城県	かすみがうら市議会	来栖 丈治	日本青年館に来場参加	○
10	茨城県	かすみがうら市議会	吉村 慎治	日本青年館に来場参加	○
11	茨城県	かすみがうら市議会	小倉 博	日本青年館に来場参加	○
12	茨城県	かすみがうら市議会	鈴木 貞行	日本青年館に来場参加	○
13	栃木県	那須塩原市議会 公明クラブ	田村 正宏	日本青年館に来場参加	
14	栃木県	那須塩原市議会 公明クラブ	鈴木 秀信	日本青年館に来場参加	
15	栃木県	那須塩原市議会 公明クラブ	星 宏子	日本青年館に来場参加	
16	栃木県	真岡市議会	中村 和彦	日本青年館に来場参加	○
17	埼玉県	蓮田市議会	中野 政廣	日本青年館に来場参加	
18	埼玉県	川越市議会	伊藤 正子	日本青年館に来場参加	○
19	埼玉県	越谷市議会	菊地 貴光	日本青年館に来場参加	○
20	東京都	町田市議会 会派名「無所属」	吉田つとむ	日本青年館に来場参加	○
21	神奈川県	綾瀬市議会	安藤多恵子	日本青年館に来場参加	
22	神奈川県	スマートケア サービス	深沢ひろふみ	日本青年館に来場参加	○
23	新潟県	長岡市議会 長岡令和クラブ	関 充夫	日本青年館に来場参加	
24	富山県	砺波市議会	山本 篤史	日本青年館に来場参加	
25	石川県	白山市議会議員 一創会	藤田 政樹	日本青年館に来場参加	
26	石川県	白山市議会議員 一創会	石地 宜一	日本青年館に来場参加	
27	石川県	白山市議会議員 一創会	西川 寿夫	日本青年館に来場参加	
28	福井県	大野市議会	林 順和	日本青年館に来場参加	○
29	山梨県	笛吹市議会	野澤今朝幸	日本青年館に来場参加	○
30	岐阜県	多治見市議会・市井の会	奥村 孝宏	日本青年館に来場参加	○
31	岐阜県	多治見市議会・市井の会	加藤 元司	日本青年館に来場参加	○
32	岐阜県	本巣市議会	高橋 勇樹	日本青年館に来場参加	○
33	岐阜県	本巣市議会	高田 浩規	日本青年館に来場参加	○
34	静岡県	島田市議会	山本 孝夫	日本青年館に来場参加	
35	静岡県	富士市議会・民主連合	笠井 浩	日本青年館に来場参加	
36	静岡県	富士市議会・民主連合	鈴木 幸司	日本青年館に来場参加	
37	静岡県	島田市議会	大石 節雄	日本青年館に来場参加	○
38	愛知県	愛知県議会議員	石井 芳樹	日本青年館に来場参加	

第27回清溪セミナー参加者名簿

No	都道府県	所属(議会名)	名前	参加形態	情報交換会 18日昼食
39	愛知県	豊田市議会公明党豊田市議団	小島 政直	日本青年館に来場参加	
40	愛知県	常滑市議会 新風クラブ	井上 恭子	日本青年館に来場参加	○
41	愛知県	愛知郡東郷町議会	中野まさひろ	日本青年館に来場参加	○
42	愛知県	日進市議会 会派「未来ネット」	白井えり子	日本青年館に来場参加	○
43	京都府	京丹後市議会 丹政会	中野 勝友	日本青年館に来場参加	○
44	京都府	京丹後市議会 丹政会	池田 恵一	日本青年館に来場参加	○
45	京都府	京丹後市議会 丹政会	平井 邦生	日本青年館に来場参加	○
46	京都府	京丹後市議会 丹政会	東田 真希	日本青年館に来場参加	○
47	京都府	京丹後市議会 丹政会	和田 晋	日本青年館に来場参加	○
48	京都府	京丹後市議会・無会派	鳴海 公軌	日本青年館に来場参加	○
49	兵庫県	丹波市議会 新風クラブ	太田 喜一郎	日本青年館に来場参加	
50	兵庫県	丹波市議会 新風クラブ	足立 嘉正	日本青年館に来場参加	
51	兵庫県	丹波市議会 新風クラブ	酒井 浩二	日本青年館に来場参加	
52	兵庫県	三田市議会	美藤 和広	日本青年館に来場参加	
53	兵庫県	三田市議会	肥後 淳三	日本青年館に来場参加	
54	兵庫県	三田市議会	檜田 充	日本青年館に来場参加	
55	兵庫県	丹波市議会 丹波会	広田まゆみ	日本青年館に来場参加	
56	兵庫県	丹波市議会 丹波会	吉積 毅	日本青年館に来場参加	
57	兵庫県	丹波市議会 丹波会	小橋 昭彦	日本青年館に来場参加	
58	兵庫県	丹波市議会 丹波会	谷水 雄一	日本青年館に来場参加	
59	鳥取県	日吉津村議会	前田 昇	日本青年館に来場参加	○
60	島根県	松江市議会 民主ネットワーク	森本 秀歳	日本青年館に来場参加	○
61	島根県	松江市議会	田中 明子	日本青年館に来場参加	○
62	岡山県	津山市議会	金田 稔久	日本青年館に来場参加	○
63	広島県	大竹市議会	末廣 天佑	日本青年館に来場参加	
64	広島県	庄原市議会 地域政党きずな庄原議員団	五島 誠	日本青年館に来場参加	
65	広島県	庄原市議会 地域政党きずな庄原議員団	國利 知史	日本青年館に来場参加	
66	広島県	庄原市議会 地域政党きずな庄原議員団	徳永 泰臣	日本青年館に来場参加	
67	広島県	大竹市議会	寺岡 公章	日本青年館に来場参加	○
68	広島県	北広島町議会	佐々木正之	日本青年館に来場参加	○
69	広島県	大竹市議会	小田上尚典	日本青年館に来場参加	○
70	広島県	福山市議会	岡崎 正淳	日本青年館に来場参加	
71	広島県	福山市議会	小島 崇弘	日本青年館に来場参加	
72	広島県	福山市議会	田口 裕司	日本青年館に来場参加	
73	香川県	丸亀市議会・公明党	内田 俊英	日本青年館に来場参加	○
74	香川県	三豊市議会	近藤 武	日本青年館に来場参加	○
75	香川県	三豊市議会	瀧本 哲史	日本青年館に来場参加	○
76	香川県	東かがわ市議会	田中 貞男	日本青年館に来場参加	○

第27回清溪セミナー参加者名簿

No	都道府県	所属(議会名)	名前	参加形態	情報交換会 18日昼食
77	香川県	東かがわ市議会	大田 稔子	日本青年館に来場参加	○
78	福岡県	飯塚市議会	江口 徹	日本青年館に来場参加	○
79	福岡県	飯塚市議会	金子 加代	日本青年館に来場参加	○
80	熊本県	荒尾市議会 瑠璃の会	野田 ゆみ	日本青年館に来場参加	○
81	鹿児島県	薩摩川内市議会 新創会	犬井 美香	日本青年館に来場参加	
82	鹿児島県	薩摩川内市議会 新創会	屋久 弘文	日本青年館に来場参加	
83	鹿児島県	薩摩川内市議会 新創会	成川 幸太郎	日本青年館に来場参加	
84	鹿児島県	東串良町議会	瀬戸山 譲一	日本青年館に来場参加	○
85	北海道	美深町議会	田中真奈美	当日ライブ視聴(両日)	
86	栃木県	壬生町議会	小牧 敦子	当日ライブ視聴(両日)	
87	富山県	自由民主党砺波市議会 議員会	向井 幹雄	当日ライブ視聴(両日)	
88	石川県	白山市議会	山口 俊哉	当日ライブ視聴(両日)	
89	岐阜県	海津市議会	橋本 武夫	当日ライブ視聴(両日)	
90	愛知県	豊明市議会	ふじえ真理子	当日ライブ視聴(両日)	
91	愛知県	みよし市議会 凌雲会	岡本 守直	当日ライブ視聴(両日)	
92	愛知県	みよし市議会 凌雲会	水谷 正邦	当日ライブ視聴(両日)	
93	愛知県	みよし市議会 凌雲会	加藤 孝久	当日ライブ視聴(両日)	
94	愛知県	新城市議会	小野田直美	当日ライブ視聴(両日)	
95	兵庫県	朝来市議会	加藤 貴之	当日ライブ視聴(両日)	
96	広島県	庄原市議会 地域政党きずな庄原	林 高正	当日ライブ視聴(両日)	
97	広島県	庄原市議会	桂藤 和夫	当日ライブ視聴(両日)	
98	福岡県	飯塚市議会	小幡 俊之	当日ライブ視聴(両日)	
99	福岡県	飯塚市議会	兼本 芳雄	当日ライブ視聴(両日)	
100	愛知県	参議院 立憲民主党	田島麻衣子	当日ライブ視聴(17日)	
101	愛知県	みよし市議会 凌雲会	眞子 伸生	当日ライブ視聴(17日)	
102	滋賀県	東近江市議会	辻 英幸	当日ライブ視聴(17日)	
103	大阪府	豊能町議会	吉田 正子	当日ライブ視聴(17日)	
104	北海道	稚内市議会	田端かがり	後日オンデマンド(両日)	
105	北海道	美瑛町議会	高田 紀子	後日オンデマンド(両日)	
106	宮城県	大郷町議会 創政クラブ	佐藤千加雄	後日オンデマンド(両日)	
107	愛知県	日進市議会	舟橋よしえ	後日オンデマンド(両日)	
108	愛知県	日進市議会 会派「未来ネット」	山田 久美	後日オンデマンド(両日)	
109	京都府	福知山市議会 (無会派)	荒川 浩司	後日オンデマンド(両日)	
110	京都府		小原 彰紀	後日オンデマンド(両日)	
111	広島県	庄原市議会	吉川 遂也	後日オンデマンド(両日)	
112	大分県	九重町議会	増田 裕子	後日オンデマンド(両日)	
113	宮崎県	高原町議会	末永 充	後日オンデマンド(両日)	

「第27回清溪セミナー」参加者の皆様へ

本日は「第27回清溪セミナー」にご参加くださり誠にありがとうございます。

1. 消毒・検温ご協力のお願い

初日・2日目とも受付にて検温と消毒をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。また施設内は十分な換気を行っていますがマスクの着用をお願いいたします。

2. お席とお荷物について

お荷物は足元においていただくか、大きなものは受付の案内により所定の場所においてください。会場の机は初日終了後に消毒をいたします。お荷物を置いたままにする場合は机の上に置かず、椅子の上に置いていただきますようお願いいたします。できるだけ2日間とも同じ席にお座りいただきますようお願いいたします。

3. 講義について

1) 各講義の冒頭に起立とあいさつのご協力をお願いいたします。

2) 講師の写真撮影についてはお断りする場合があります。司会者からの注意をお守りください。講師の姿は撮影可でもパワーポイントの撮影は不可の場合があります。

3) 質問は対面参加の方は「質問カード」でお受けいたします。「質問カード」の受け渡しは講義中でも結構です。スタッフにお渡しください。追加の質問カードもスタッフに挙手でお申し付けください。オンラインでご視聴の方はチャット機能でお受けいたします。同種の質問は司会にて取りまとめて講師にお聴きいたしますので、ご了承ください。簡潔な記載をお願いいたします。

4. 日本青年館にご宿泊の方のチェックインについて

日本青年館ホテルにご宿泊の方は、初日の講義が18時10分に終了後、およそ40名の方がチェックインを行いますので、一度にフロントに向かうとお並びいただくこととなります。できる限り夕食後やお出かけ後など時間をずらしてチェックインしていただきますようご協力をお願いいたします。また、初日終了後にスタッフから時間差でホテルにおあがりいただきますようご案内をさせていただきますので、重ねてご協力をお願いいたします。チェックインの際に検温記録がございますので、ご協力をお願いいたします。

5. 日本青年館ホテルレストランの営業について

現在、9Fのレストランは朝・昼は営業中ですが、夜間の営業はしていません。ご夕食をお取りになる場合は、地下鉄「外苑前駅」周辺などの飲食店をご利用ください。また、1Fのファミリーマートも6:30から23:30まで営業しております。

6. 18日の昼食交流会について

お申込みいただいた方のみのご参加となります。名簿に記載がございますのでご確認ください。また、参加者からひと言いただく機会も用意しておりますのでその際はご協力をお願いします。

7. オンデマンド視聴について

今回受講いただきました講義を、11月1日以降2か月間オンデマンド視聴ができるようにしております。対面参加・オンライン参加とも改めてアドレスを送信いたします。

8. アンケートについて

議員の皆さんのご意見を生かしながらプログラムを組んでまいりますので、アンケートへのご協力をお願いします。オンラインの方にもデータを送信いたします。

日本青年館の沿革

◆初代



日本青年館は、大正時代、明治神宮のご造営に全国の青年団員が労力奉仕を行ったことに対し、時の皇太子より令旨を賜ったことを記念し建設されました。当時の青年は一人1円抛金によって約200万円をつくり、大正14年10月に初代日本青年館を完成させました。戦前・戦後を通じ、全国の青年団の育成に尽力しましたが、GHQ（連合国最高司令官総司令部）に接收される時期もありました。東京オリンピックではプレスセンターの役割を果たした後、開館から半世紀を経て、老朽化のため昭和52年に解体の運びとなりました。

◆二代目



10年近くをかけて館の再建の議論を重ね、幸い日本青年団協議会が大正時代の青年に見習って募金運動を決定したことで、このうねりが国や財界等を動かしました。とりわけ文部省がはじめて民間の教育施設に助成を行うなど、多くの関係者の協力が実を結んで、昭和54年1月に初代に倍する二代目を完成させることができました。日本青年館にとって、財団設立以来の二度目の大事業でした。

二代目は歴史と伝統を継承すると共に、絶えず時代を先取りしながら、日本の社会教育の発展に努力してまいりました。

◆三代目



平成24年4月、国立競技場改築に伴う移転要請を受け、機関会議における幾度もの議論を経て、五輪等の国家プロジェクトに協力することを決断しました。

建物の規模や機能、移転費用等さまざまな問題を乗り越えての移転・再建でしたが、今回も全国各地の多くの皆様からご支援を賜り、平成29年7月18日、外苑の地に二代目と同規模の建物が完成し、8月1日にはホテルだけでなく、ホールや会議室、レストラン、宴会場を備えた総合施設としてグランドオープンしました。

そして令和3年に財団設立100年目を迎え、本年11月2・3日に式典やコンサートなど記念事業を開催する予定です。これからも若者たちと歩み続ける日本青年館として、青年団や青少年団体活動の支援、社会教育の振興、スポーツ・文化活動の発展、そして豊かな地域社会の実現を目指し、その社会的使命を果たしてまいります。

新型コロナ感染防止対策へのご協力をお願い

1) 参加者ご自身の対策について

- (1) セミナー参加中も体調管理には十分ご注意ください。
- (2) セミナー参加中は必ずマスクの着用をお願いいたします。
- (3) 咳エチケットやこまめな手指の消毒を心がけてください。

2) セミナーでの対応について

- (1) 初日、2日目とも受付で検温を実施させていただきます。ご協力をお願いいたします。
- (2) 検温により 37.5 度以上ある場合はご参加いただけませんのでご了承ください。
- (3) 会場 (250 m²) には定員より少ない人数に入場を押さえています。
- (4) ホテルエントランスや会場には消毒用アルコールを設置しておりますのでご利用ください。
- (5) 施設内において多くのお客様が触れることが想定されるエレベーターや非常階段、ロビーなどは定期的に消毒を行っています。
- (6) 会場は自動換気ならびに空気清浄機を使用しております。
- (7) 講義での質問は、例年同様「質問カード」をご使用ください。
- (8) 受付やホテルフロントでは、お並びになる場合も一定の距離を保つようお願いをいたします。
- (9) 本日のセミナーではおよそ 40 名の方が日本青年館にご宿泊されます。チェックインの際はできる限り分散してフロントにお越しくださるようお願いいたします。

第3回

親子ヘルサポ講演会 虐待を予防し、 子どもの健やかな育ちを支える ～保健師への期待～

参加料無料

日時	2022年12月9日(金) 18:30～20:30
方法	会場（先着100名）とオンラインのハイブリッド
会場	福岡国際会議場 410室 〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1
締切	2022年12月2日(金)



講師：医療法人井上小児科医院

名誉理事長 井上登生 先生

井上先生は、大分県中津市の小児科診療所で30年間、子ども虐待予防に向けた母子保健と子育て支援活動を連動させ、妊娠期からの切れ目のない支援を地域の母子保健部門の保健師や児童相談所等と協働、実践されている先生です。

地域の第一線で子どもの命をはぐくみ、護る先生から、母子保健、児童虐待予防を担う保健師へ熱いエールを送っていただきます。

【書籍】

『子ども虐待の臨床』（共編、2005年、南山堂）、『子どもの心の診療医になるために』（共著、2009、南山堂）、『子ども虐待とアタッチメント障害』（分担執筆、2013年、学研教育出版）、『子ども虐待；マネジメント』（分担執筆、2013年、中山書店）、『おおいたの子ども家庭福祉』（分担執筆、2022年、明石書店）



QRコードまたは以下のURLからお申込みください
<https://forms.gle/ZBYFZVEq4x8wrAYy6>

主催：一般社団法人保健師による親子ヘルス&サポート推進協会

お問い合わせ（事務局）：Email：oyakohelsapo@gmail.com

HP:<https://fhna.jp/>

Facebook:<https://www.facebook.com/oyakohelsapo>

Twitter:<https://twitter.com/oyakohelsapo>



親子ヘルサポ



「いっ
ろ
も
っ
な
ぐ」

日本子ども虐待防止学会 第28回学術集会 ふくおか大会

2022年12月10日(土)～11日(日)

会場 / 福岡国際会議場 (福岡市博多区石城町2-1)

文会長 小川 厚 (福岡大学筑紫病院小児科 教授)

実行委員長 藤林 武史 (西日本こども研修センターあかし)

主催 一般社団法人日本子ども虐待防止学会
日本子ども虐待防止学会第28回学術集会 ふくおか大会実行委員会

日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会 タイムスケジュール 1日目：12月10日（土）

施設		福岡国際会議場									
フロア	3F		2F					4F			
学会使用	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
会場	メインホール	201	202	203	204	409	410	411	412	413	
8:00											
9:30											
10:00	オープニング セレモニー										
10:30	行政説明 OD 厚生労働省 内閣官房子ども家庭 庁設立準備室										
11:00	リレー 基調講演 奥山 真紀子 若佐 嘉彦										
11:30	福岡大学和太鼓部 「鼓舞猿」演奏										
12:00											
13:00	同通 特別講演1 OD 「性的虐待の刑事手 続におけるアメリカ での実践—子どもの 司法面接と証人尋問 におけるベストプラ クティスとは—」 [Best Practices for Prosecuting Child Sexual Abuse: Lessons from the United States] Thomas D. Lyon	教育講演1 OD 「ICT を活用した成 育基本法基本的方法 の推進：母子保 健と思春期のヘル スプロモーション」 永光 信一郎	委員会等 OD シンポジウム1 「2022年改正児童 福祉法の論点」 柏女 照峰 (制度検討委員会 ワーキンググルー プ)	大会企画 OD シンポジウム1 「社会的養護のもと にある子どもと養 育者への介入にお ける複雑性心的外 傷後ストレス障害 診断の意義」 山下 洋	委員会等 OD シンポジウム2 「児童相談所保健師 への期待—子ども 虐待対応への効果 的な機能発揮に向 けて—」 渡辺 好恵 柴山 陽子 (虐待予防ワーキン ググループ)	S-1 「第三者評価の準備 段階で見てきた 児童相談所一時保 護所の法律・制度 上で抱える課題」 安部 計彦	S-2 OD 「子どもの居場所つ くりを進めるため に—児童相談所・ 市区町村との連携 をどう進めるか—」 川松 亮	S-3 「臨床と研究の融合 —脳科学的視点か ら子どもの発達を 考える。マスク越 しのコミュニケーション とマルチ リートメント」 水島 栄	S-4 「チーム学校を形成 するAIスクリー ニングシステム（発 見から支援まで）」 山野 則子	S-5 「ヤングケアラー支 援の課題と展望— 児童家庭支援セン ターの実践から見 てきたこと—」 橋本 達昌	
14:00		教育講演2 「子ども虐待死亡事 件裁判における心 理鑑定必要性と 意義について」 西澤 哲				S-12 「困難を抱える子ど もと家族を支える ラップアラウンド の現場活用—自治 体における実装を 進めるなかで—」 久保 樹里	S-13 「中野区児童相談所 小さな一時保護所 の大きな挑戦—SoIS・ アドボカシー・通学 /学習支援・心理支 援—」 阪無 勇士	S-14 OD 「法医学を有効活用 していただくため に：児童福祉法の 改正を受けて」 内ヶ崎 西作	S-15 OD 「教育の分野から 始める児童虐待予 防教育—健全な 家庭をつくる教育・ フィンランドと日 本の取り組み—」 柴田 俊一	S-16 「社会的養護におけ る「家庭」、「家庭 的」について考え る—養育者が紡い でいくもの—」 河尻 恵	
15:00											
16:00	同通 特別講演2 OD 「子ども・若者を守る ための韓文化の創 造—英国の子どもア ドボカシーから学ぶ—」 [Creating a listening culture to protect children and young people—Lessons from the UK—] Jane Dalrymple	教育講演3 OD 「虐待をする親 の理解を深める」 加茂 登志子	大会企画 OD シンポジウム2 「[サポートプラン を用いた市区町村 のケースマネジメント を考える—家族と割 り、談える支援に向 けて—」 福井 充	大会長企画 OD シンポジウム 「医療者和其他機関を 結ぶ BEAMS —医療者以外にお 届けする虐待医学 の基礎知識—」 小川 厚 仙田 昌義	委員会等 OD シンポジウム3 (NPO 法人 [BUK] スポンサードセッ ション) 「障害児虐待の実態 と虐待予防を踏まえ た障害児とその家族 支援について」 小川 厚 米山 明 (障害児虐待予防 ワーキンググループ)	S-23 OD 「DV ケースにおけ る子どもの安全と 福祉につながる家 族力動のアッセメ ントの再考—加害 親の支配理解に焦 点づけて—」 増井 香名子	S-24 「児童相談所一時保 護所職員を行う研 修内容とそのあり 方を考える」 茂木 健司	S-25 「司法面接（協同面 接）の現状と課題 —被害を受けた子 どもに配慮された 刑事手続とは」 飛田 桂	S-26 「[生きる教育] —Trauma Informed Education—」 小野 太恵子	S-27 「虐待通告窓口の一 元化におけるケー ス振り分けの効果 —子ども家庭総合 支援拠点と児童相 談所への振り分け を考える—」 鶴田 智子	
17:00											
17:30											
18:00											
18:30											
19:00											
19:30											
20:00											

※オンデマンド配信セッションは変更になる可能性があります。
 ※オンデマンド配信となっているセッションにおいても、講演内容や発表者等のプライバシー保護のため、オンデマンド配信できない発表部分がございますのでご了承ください。

OD: 後日オンデマンド配信予定(12/7時点)

福岡国際会議場					サンパレスホテル&ホール					
4F		5F	5F	2F	2F	2F	2F	4F	4F	
第11会場	第12会場	第13会場	第14会場	第15会場	第16会場	第17会場	第18会場	第19会場	第20会場	第21会場
414	402+403	404+405	502	503	パレスルーム A	パレスルーム B	平安	末広	第3会議室	第5会議室
S-6	S-7	basic lecture 1 OD	S-8	S-9	S-10	S-11 OD	子ども・若者プログラム※※ [みんなの「こえ」をかかせてワーク] 中村 みどり	一般演題 1	一般演題 2	
「入所児童向けのグループワーク実践にまつわる児童自立支援施設と大学の協働について」 三垣 明子	「市区町村家庭支援ケースマネジメントのあり方を考えるー通告を入口とし家庭を支援するシステムの構築と評価」 島山 由佳子	「児童福祉法のキホンのキー子ども福祉保障のためにこれを知らなきゃ始まらない〜」 久保 健二	「福岡市におけるCRC親子プログラムの取り組みー民間団体との協働ー」 山口 睦美	「沖縄の抱える貧困と虐待。子どもの居場所づくりー民間だからできる事〜」 一般社団法人ほしおかプロジェクト	「市町村における新たな家庭訪問型の親子関係形成・再構築支援を目指して」 山岡 祐衣	「アフターケアのその先へー児童福祉によるアフターケアの意義と限界についての考察〜」 安井 飛鳥		児童福祉施設 1 座長: 井出 智博	医療 1・教育 座長: 森吉 研輔	
S-17	S-18	basic lecture 2 OD	S-19	S-20	S-21	S-22		一般演題 3	一般演題 4	
「ソーシャルペダゴジーの国際的動向からその日本への導入の意義と方法を考える」 細井 勇	「地域の子育て世帯に向けた母子生活支援施設の取組みについてー母子生活支援施設の多機能化・高機能化に向けた実践〜」 社会福祉法人 八尾隣保館	「基礎から学ぶ少年法」 楠田 瑛介	「IMY TREE 母親・父親プログラムによる虐待的言動からの回復」 平尾 恭子	「社会的養護の最前線から、真のパーマネンシー保障を考えるー施設と児相、協働治療の新たな取組み〜」 宗 健太郎	「権利をベースにした、子どもの心とからだを守る予防教育・CAPプログラムー社会的養護の現場での実践から〜」 NPO 法人 CAP センター・JAPAN	「福岡市における里親支援専門相談員の役割と課題について里親とともに考える」 池田 佐知子	児童福祉施設 2・里親・養子縁組 座長: 野村 れいか	司法・子育て支援 1・民間団体・その他 座長: 神岡 淳司		
S-28	S-29	basic lecture 3 OD	S-30	S-31	S-32	S-33	一般演題 5	一般演題 6		
「子どもから見た面会交流ー子どもへの調査結果と、家庭裁判所における面会交流の現状、海外の法制度から考える〜」 熊上 崇	「児童養護施設等入所型児童福祉施設における児童問性暴力への包括的アプローチに関する研究」 遠藤 洋二	「社会的養護におけるケアの基本を学ぶーこどものみかた(生い立ちの整理の視点)ー」 山口 修平	「サイナス・オブ・セーフティ・アプローチ実践の検証ー試み」 菱川 愛	「大阪府子ども家庭センターにおける改正特別養子制度への取り組みー弁護士との協働〜」 前河 桜	「子どもの権利を子どもにどう伝えるか?ー福岡市の新・権利ノートの取り組みPart2〜」 橋本 愛美	「出自を知る権利の保障に向けてー養子当事者と支援者の語りを元へにー」 藤林 武史	児童相談所 1 座長: 松崎 佳子	子育て支援 2・市町村 座長: 仲野 宏子		
交流会 17:30~18:30 ポスター会場(501) ※参加費無料(飲食なし)										

※社会的養護経験者や現在社会的養護を受けている者限定プログラム

日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会 タイムスケジュール 2日目：12月11日(日)

施設		福岡国際会議場									
フロア		2F					4F				
学会使用	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
会場	メインホール	201	202	203	204	409	410	411	412	413	
8:00											
9:00		教育講演4 OD 「子どもの虐待における法医学的作用」 久保 真一				S-34 「福祉×国語×デザイン「デザイン国語」による子どもの意思形成・意思表明・意思実現を支援するレッスン開発と実践」 伊藤 嘉余子	S-35 OD 「児童相談所におけるスーパーバイズシステムのメンテナンスをボトムアップで考える」 北谷 多樹子	S-36 「子どもの意見表明支援員の役割と機能について」 曾我 智史	S-37 「医療機関の児童虐待対応と多機関多職種連携のノウハウ (know-how)」 城戸 貴史	S-38 「Re: [2016おおか] 社会的養護を担う人材養成課程においてライフストーリーワークをどう扱うか?」 山本 智佳央	
10:00	同通 特別講演3 OD 「子ども虐待対応のパラダイムシフト：子どもと家族が意思決定の中心となるシステムを想像してみよう」 「Imagine a child protection system with children and families at the center of decision-making」 Lisa Merkel-Holguin		大会企画 OD シンポジウム4 「周産期からの切れ目のない母子支援で孤立を防ぐ」 荒木 俊介 山下 洋	大会企画 OD シンポジウム5 「福岡市における社会的養育の進展とこれから～官民共働の家庭養育から予防的支援へ～」 松崎 佳子 池田 佐知子	委員会等 OD シンポジウム4 「意見表明等支援(アドボカシー)事業の円滑な実施に向けて真に子どもの声を大切にシステム構築のためには」 相澤 仁 (子どもの権利を守るワーキンググループ)		S-45 「児童相談所一時保護所の効果的な研修パッケージモデルの開発に関する研究」 鈴木 勲	S-46 OD 「児童相談所職員による管轄を越えたオンラインピアグループのススメ」 吉村 拓美	S-47 「子どもの権利擁護に対する明石こどもセンターの取り組み」 福垣 由子	S-48 OD 「養育に向けてのリスクアセスメントを医療機関の看護師と一緒に考えませんか?」 川口 めぐみ 樫木野 裕美	S-49 「ライフストーリーワークに導くための日常生活の土壌づくり」 才村 真理
11:00		教育講演5 OD 「子どもの権利とコミュニケーション・デザイン」 田北 雅裕									
12:00											
13:00	同通 日本財団 スポンサーセッション 「乳幼児にとつての家庭教育の重要性～国際的なエビデンスと乳幼児を養育する里親への示唆～」 Charles H. Zeanah	教育講演6 OD 「自傷と市販薬乱用の理解と援助」 松本 俊彦	大会企画 OD シンポジウム7 「社会的養護における子どもアドボカシーのデザイン～先行自治体の実践に学ぶ～」 柴留 里美 安孫子 健輔	大会企画 OD シンポジウム8 「児童相談所での一時保護に対する司法審査のこれから～一時保護開始時の司法審査導入に向けて～」 一宮 里枝子	委員会等 OD シンポジウム5 「子どもの権利を基盤とした子ども虐待防止活動を展開するために～子どもの権利に関するアンケート調査から～」 相澤 仁 奥山 真紀子 吉田 恒雄 (子どもの権利を守るワーキンググループ)	S-55 「移行期にある子どもとの対話をすすめるために～当事者ユースが作成した絵本の現場での活用に向けて～」 畑山 麗衣	S-56 「性虐待の被害児が受けるべき系統的全身診察はどこで受けられるのか」 田上 幸治	S-57 「アタッチメントについての実践～地域生活・一時保護・施設入所の各ステージにおいて～」 服部 隆志	S-58 「中核市だからこそできる支援～基礎自治体による児童相談所設置が目指すもの～」 川並 利治	S-59 OD 「言葉と絵を用いた子ども、家族、援助者の共働化を目指す実践～子どもへの説明責任と意見表明支援～」 小林 美和	
14:00											
15:00	大会企画 OD シンポジウム10 「不適切養育における乳幼児～親の関係性評価と介入～ Zeanah 教授の講義と多職種臨床スタッフとの討論～」 青木 豊 山下 洋	教育講演7 OD 「トラウマインフォームドケア～児童福祉の現場を「環状島」モデルから考える～」 野坂 祐子	教育講演8 OD 「倫理・COI委員会：個人情報保護法改正を受けて、抄録の書き方を考える」 御牧 信義 (倫理・COI委員会)	委員会等 OD シンポジウム6 「児童家庭ソーシャルワーカーに必要な知識と技術～英国のKSSを参考に～」 増沢 高 (専門性構築ワーキンググループ)	委員会等 OD シンポジウム7 「当事者参加のモヤモヤとこれから～インケア・ユースからの「声」をどう受け止めるか」 相澤 仁 (当事者ユースワーキンググループ)	S-66 「心理職が児童福祉司を経験することで見えてきたもの～児童相談所の心理職の人材育成について考える①～」 衣川 修平	S-67 「児童相談所における性的虐待対応と3機関協同面接の課題～子どもの福祉を守る機関として果たす役割～」 鈴木 浩之	S-68 「子どもと精神障がいを抱えた親の支援」 中村 知英	S-69 「一時保護・施設入所措置中の子どもとの面会通信制限」 藤田 香織	S-70 「子どもの意見表明支援のこれから～児童福祉におけるアドボカシー活動の専門性の確立にむけて～」 石田 眞奈子	
16:00											
17:00											
18:00											
19:00											
20:00											

※オンデマンド配信セッションは変更になる可能性があります。
 ※オンデマンド配信となっているセッションにおいても、講演内容や発表者等のプライバシー保護のため、オンデマンド配信できない発表部分がございますのでご了承ください。

OD：後日オンデマンド配信予定(12/7時点)

福岡国際会議場					サンパレスホテル&ホール					
4F			5F	5F	2F	2F	2F	2F	4F	4F
第11会場	第12会場	第13会場	第14会場	第15会場	第16会場	第17会場	第18会場	第19会場	第20会場	第21会場
414	402+403	404+405	502	503	パレスルーム A	パレスルーム B	平安	末広	第3会議室	第5会議室
S-39 OD [子ども一人ひとりに適した施設環境について考える：神戸市におけるHOME評価尺度導入の取り組み] 児童養護施設グイン・ホーム	S-40 [COVID-19感染拡大の長期化が社会的養護経験者に与える影響と必要な支援について考える] 井出 智博	S-41 [早期親支援(0~1歳6か月まで)に参加回数を限定した安全な「親支援グループミーティング事業」の効果について] 山川 玲子	S-42 OD [体罰・虐待など子どもに対する暴力をなくし子どもの権利を保障するために] 森 保道	S-43 [子ども家庭福祉の人材育成としてのスーパービジョンの試み~母子生活支援施設における実践的取り組みから~] 中島 尚美	大会企画 シンポジウム3 [子ども虐待対応における保護者支援~対立から協働へ~] 堀井 智帆	大会企画 OD シンポジウム6 [社会的養護の出口とその後] 安孫子 健輔	S-44 [性暴力被害病院拠点型ワンストップセンターの包括的支援の展開] 佐藤 浩子		一般演題 7 児童相談所 2 座長:小澤 永治	
S-50 [児童家庭支援センターによる要保護児童の在宅支援の現状~2021年度児童家庭支援センターの全国調査の報告~] 武田 玲子	S-51 [「児童福祉施設における性教育実践」~性教育実践と生活支援~] 山口 修平	S-52 OD [虐待防止をめざした地域拠点型多胎支援活動~コロナ禍における妊娠期からの取り組み~] 服部 律子	S-53 OD [地域でつなぐ保護者支援] 山下 雅子	S-54 [虐待の連鎖を断ち切るDV被害女性とその子どもへの同時並行心理教育「びらぶプログラム」] 小柴 久子	basic lecture 4 OD [市区町村子ども家庭支援における役割と支援のこれから~子ども虐待対応がはじまって18年を振り返って~] 八木 安理子		大会企画 OD ワークショップ 1 [性的虐待の司法面接で適切な質問をするために] Thomas D. Lyon		一般演題 8 医療 2 座長:賀来 典之	
S-60 [「児童福祉施設内「性的問題」に対する予防・教育・対策について多面からの報告と議論を行う」] 小木曾 宏	S-61 [福岡市における「福岡市におけるショートステイ活用在宅支援」~ソーシャルワーク上の課題~] 松崎 佳子	S-62 [「コロナ禍でニーズの高まるにんしんSOSの質の高い支援を目指して」] 佐藤 拓代	S-63 [「市民から社会を変えよう：市民と専門家が協働する子ども虐待ゼロの地域づくりへ」] キタ 幸子	S-64 [「虐待予防に寄与する「第三の居場所」の取り組み」] 加賀谷 悠	basic lecture 5 OD [母子保健と虐待予防] 中板 育美	大会企画 OD シンポジウム9 [「保育士がソーシャルワークをする意義」] 朝田 智子	S-65 [「孤立する若年妊産婦に対する居場所支援の現状と課題~3団体の実践から考える~」] 中島 かおり		一般演題 9 医療 3 座長:荒木 俊介	
S-71 [「児童養護施設における児童相談所と協働した性問題の予防と関係性支援のためのグループワークの取り組み」] 小澤 永治	S-72 OD [「家庭養育推進自治体モデルプロジェクトの意義と課題~3歳未満里親委託率75%と在宅家庭支援への挑戦~」] 上鹿渡 和宏	S-73 [「トリプルPによる新型コロナウイルス影響下での育児支援~オンライン活用の試みとその効用~」] 柳川 敏彦	S-74 [「子どもたちを守るためにできること~地域との継続的な連携を考える~」] 今村 真美	S-75 [「非行の課題を抱える子どもの支援~子どもの権利を基盤として児童福祉、少年司法、教育の連携のありかた~」] 楠田 瑛介	basic lecture 6 OD [子ども虐待防止に向けた学校でのスクールソーシャルワーカーの役割] 奥村 賢一		大会企画 ワークショップ 2 [「家族と共に「子どもの安全安心」を考えるために~支援プロセスに家族が参加するための実践を考えるワークショップ」] Lisa Merkel-Holguin		一般演題 10 母子保健 座長:猪谷 生美	

令和4年4月吉日

市町村長各位

(子育て支援・母子保健・教委各担当課)

Children First FUKUOKA 代表

江藤秀之 福岡県議会議員

穂吉秀隆 飯塚市立病院

田中祥一朗 麻生飯塚病院

Children First FUKUOKA 第5回セミナーのご案内

平素より住民のためにご尽力頂いていることに感謝申し上げます。

私ども Children First FUKUOKA (チルドレンファーストふくおか) は、増える一方の児童虐待の防止のために昨年春に立ち上げた団体です。

5月の第1回セミナーでは「こども宅食」、7月の第2回セミナーでは、「市町村子ども家庭総合支援拠点」について取り上げました。

第3回目となる今回は、福岡市の児童相談所に長く勤務され、今は福岡市子ども家庭支援センターはぐはぐのセンター長を務められている河浦龍生さんを講師に迎え、「なぜ子ども達を救えないのか ～子ども虐待死亡事例を考える～」と題し、福岡県の検証部会の報告書、田川市の田川市児童虐待等事例検証報告書を参考に、どうやったら子ども達を児童虐待から救えるか、子どもを支える多様な主体がつながるにはどうしたらよいかを考えます。

市町村長の皆さま、そして各担当課の皆さまにおかれましては、お忙しい中とは存じますが、ご参加頂けますよう、また関係の方々へご案内頂けますようお願い致します。

【講師プロフィール】

講師:河浦 龍生 さん(福岡市子ども家庭支援センター「はぐはぐ」センター長)

社会福祉士/共著「児童相談所改革と協働の道のり」他

1974年に福岡市役所に入庁し、1996年から福岡市児童相談所(現・福岡市こども総合相談センター)に勤務。2009年より虐待対応専任の課長を務める。

2016年まで同センターに勤務後、福岡市子ども家庭支援センター(はぐはぐ)センター長に就任、現在も多くの子どもと家庭の支援に携わっている。

福岡大学法学部の非常勤講師や自治体のスーパーバイザーも務めるほか、各地で講演活動を行うなど、後進の育成にも力を注いでいる。

Children First FUKUOKA 第3回セミナー

なぜ子ども達を救えないのか ～子ども虐待死亡事例を考える～

【日時】 令和3年12月22日(水) 18時30分から20時まで

※オンライン配信・録画配信も用意します。

【場所】 福岡県飯塚市飯塚14-67 TEL 0948-22-3274

イイツカコミュニティセンター 学習室401

【演題】 なぜ子ども達を救えないのか ～子ども虐待死亡事例を考える～

【講師】 河浦 龍生 さん(福岡市子ども家庭支援センター「はぐはぐ」センター長)

社会福祉士/共著「児童相談所改革と協働の道のり」他

1974年に福岡市役所に入庁し、1996年から福岡市児童相談所(現・福岡市こども総合相談センター)に勤務。2009年より虐待対応専任の課長を務める。2016年まで同センターに勤務後、福岡市子ども家庭支援センター(はぐはぐ)センター長に就任、現在に至る。

【申し込み】

参加無料

会場参加 定員120名

オンライン参加 定員 80名

録画配信 定員はありません。後日、URLのご案内をいたします。

申し込み方法 別紙申込書もしくは右のQRコードから申し込み下さい。

申し込み締切 会場・オンライン共に12月20日です。

なお、会場参加については、当日空きがある場合は可能です。



【備考】

できましたら、事前に福岡県の児童虐待事例検証報告書(篠栗町の5歳児餓死事件、飯塚市の3児死亡事件、田川市の3児死亡事件)、田川市の児童虐待等事例検証報告書をご一読下さい。なお、各報告書等についてはQRコードにご案内があります

【主催】 Children First FUKUOKA

【共催】 飯塚市教育委員会

【問い合わせ】

Children First FUKUOKA 事務局 曾根諒太(江藤秀之事務所)

TEL 0948-26-3230 FAX 0948-26-3223 メール childrenfirstfukuoka@gmail.com



11月下旬スタート予定!

無料です!

Children First FUKUOKA による

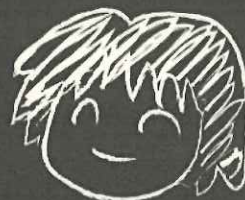
オンライン学習支援

日時 毎週火曜日 ①16時30分~17時20分
②17時30分~18時20分

場所 鎮西交流センター

定員 各回5名程度(小3~中学生)

持ち物 筆記用具、ドリルや宿題など



タブレットの向こうにいる先生といっしょに学習します。毎回違う先生かも知れないし、同じ先生かも知れません。大学生や社会人など、いろんな講師がいます。教室の中ではマイク付きのヘッドホンを通して会話するので、他の人に聞かれることはありません。

「今さら聞けない」、「こんなこと聞いたらはずかしい」と教室の中では、手をあげて質問できなかった問題も、ここなら何回聞いても大丈夫。ゆっくりといてねいに、わかるまで優しく教えてくれます。難しい手続きも操作ありません。教室見守のボランティアスタッフがサポートします。安心して来てくださいね。

よくある質問

- Q. 最初はタダでも、後から機材購入など高額請求されるのでは?
- Q. どんな問題でも良いの?例えば前の学年で習ってわからなかったところとかも…?
- Q. ひとり親とか生活困窮家庭など条件がありますか?

- A. いいえ。いっさいありません。タブレットや機材等は貸出します。
- A. 宿題でもドリルでもOK。とにかく、お子さんが「わからなかった」問題。
- A. 特に条件はありませんが、申込みが多い場合は抽選を行う場合があります。

参加申込方法

QRコード【<https://forms.gle/WSodB73yZhZzvMD27>】を読み取っていただくか、または裏面の用紙を記入してFAXでお送りください。お申し込み多数の場合は、抽選させていただきます。
なお、この事業は来年2月末までとなっておりますので、ご理解の上お申し込みください。

お問合せ先 : ☎ 090-2505-7224 (わたなべ)



Children First FUKUOKA 会費規則

- 1 Children First FUKUOKA (チルドレンファーストふくおか) の会費については、この規則で定めます。
- 2 会費の額は次の通りとします。
- | 個人 | 年額 | 一口千円 | 団体 | 年額 | 一口5千円 |
|--------|----|---------|----|----------|-------|
| 1 一般会員 | 個人 | 年額 一口千円 | 団体 | 年額 一口5千円 | |
- ただし、県議会議員は年額1万円、市町村議会議員は年額5千円とします。
- 2 賛助会員 年額 一口5千円以上
- 2 会費をお支払い頂いた方には、決算報告を行います。また、会費が複数年滞った場合には、会員資格を失うことがあります。
- 3 支払われた会費の返還は行いません。

Children First FUKUOKA 規約

- (名称) 第1条 この団体は、Children First FUKUOKA (チルドレンファーストふくおか) といいま
- (目的) 第2条 この団体は、未来を担う存在である子どもを児童虐待から守り、その人権を擁護する
とともに、児童虐待を予防するために子育て家庭を支える社会づくりを目的とします。
- (事業) 第3条 この団体は、上記の目的を達成するため、次の事業を行います。
- | |
|-----------------------|
| (1) 学習会 |
| (2) 会員相互の情報共有 |
| (3) 調査研究・提言 |
| (4) 子育て家庭等への支援 |
| (5) 広報 |
| (6) その他、目的達成のために必要な事業 |
- (会員) 第4条 この団体の正会員は、次の二種類とします。
- | |
|---|
| (1) 一般会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体 |
| (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体
(役員等) |
- 第5条 この団体に次の役員をおく他、顧問をおくことができることとします。

- | |
|--|
| (1) 代表 |
| (2) 副代表 |
| (3) 事務局長 |
| (4) 理事 |
| (5) 会計 |
| (6) 監査 |
| (会費) 第6条 会員は、別に定める会費を納入しなければなりません。
(会計) |
- 第7条 この団体の活動に要する経費は、会費、寄付金、その他の収入によってまかないます。
(雑則)
- 第8条 この規約に定めていない事項で、運営上必要な事項は、役員会において決めます。

附 則

この規約は、令和3年5月5日から施行します。

活動についてのお約束

私たち、Children First FUKUOKA は、様々な方々から構成される団体です。
その様々な方々が、立場を超え、子どものためにより良い環境を創るべく、息の長い活動としたいと思っています。
皆さんが、気持ちよく活動するために、以下の点に気をつけましょう。

- できる事をできる人ができる時に協力しながら！
(無理をしない、できない時はハッキリ断りましょう)
- それぞれ違って当たり前！
(立場の違い・意見の違いを受け入れましょう)
- 情報やアイデアをシェア！
(1人ではできないことも協力があるとも可能かも。せつかくの思いや情報、皆でシェアしてみませんか)

そして、基本は、団体名にもある Children First (チルドレンファースト) です。
【子どもの最善の利益】のために、力を合わせて活動しましょう。



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 未来いづか)

(資料作成費 No.1)

(領収証等貼付箇所)

令和 4年度 納入通知書兼領収書

〒 820-0005 飯塚市鯉田 2 5 2 5 - 1 5 9	
江口 徹	
納付書番号	31403 様
現年	調定番号 106424
担当課 議会事務局	
金額	1,590 円
摘要	議会事務局 コピー代収入 モノクロ159枚
会計	01 一般会計
款	22 諸収入
項	05 雑入
目	03 雑入
節	06 雑入(手数料使用料)
細節	02 複写機使用収入
細々節	01 複写機使用収入
納期限	令和 5年 3月20日
上記の金額を納期限までに 納入してください。	
飯塚市長職務代理者 	
上記の金額を領収しました。 飯塚市会計管理者	領収日付印
指定金融機関及び収納代理金融機関 飯塚市役所、福岡銀行、飯塚信用金庫、西日本シティ銀行、十八親和銀行、福岡中央銀行、福岡嘉穂農業協同組合、福岡県信用組合、九州労働金庫、横浜幸銀信用組合、福岡ひびき信用金庫、北九州銀行の本店・支店・支所・出張所	

(納入者保管)

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 未来いづか)

(資料購入費 No.1)

www.yodobashi.com

** 領収書 **

ご注文日 2022/11/21
ご注文番号 7371376559

2023/04/27 10:36

未来いづか 江口徹 様

¥220- 内消費税 ¥20-
消費税10%対象 ¥220 内消費税 ¥20

ご注文番号7371376559の商品代金として確かに領収いたしました

お買い上げ明細

商品名	JANコード	数量	単価	金額
ブラック保育園を増やすな (毎日新聞出版) [電子書籍]	2084004730574	1	¥220	¥220
合計				¥220
(内消費税)				¥20
クレジットカード (...220下3桁表示) 1回払い				¥220
(内消費税)				¥20

www.yodobashi.com

** 領収書 **

ご注文日 2022/11/21
ご注文番号 7371377311

2023/04/27 10:34

未来いづか 江口徹 様

¥968- 内消費税 ¥88-
消費税10%対象 ¥968 内消費税 ¥88

ご注文番号7371377311の商品代金として確かに領収いたしました

お買い上げ明細

商品名	JANコード	数量	単価	金額
年収443万円 安すぎる国の絶望的な生活(講談社現代新書) [新書]	9784065299289	1	¥968	¥968
合計				¥968
(内消費税)				¥88
クレジットカード (...220下3桁表示) 1回払い				¥968
(内消費税)				¥88

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 未来いいつか)

(資料購入費 No.2)

(領収証等貼付箇所)

www.yodobashi.com

** 領収書 **

ご注文日 2022/11/21
ご注文番号 7371377311

2023/04/27 10:34

未来いいつか 江口徹 様

¥880-

内消費税 ¥80-

消費税10%対象

¥880

内消費税

¥80

ご注文番号7371377311の商品代金として確かに領収いたしました

お買い上げ明細

商品名	JANコード	数量	単価	金額
【バーゲンブック】ルポ産ませない社会 [単行本]	4528189632400	1	¥880	¥880
配送費 (EC用)	2091200000004	1	¥0	¥0
		合計		¥880
		(内消費税)		¥80
	クレジットカード (...220下3桁表示)	1回払い		¥880
		(内消費税)		¥80